

「松山市子ども・子育て
支援事業計画」の
平成27年度実施状況

(地域子育て部会)

～第5章「子ども・子育て支援の
新たな取り組み」部分～

平成29年5月30日

▼評価方法

【計画値と実績値】								
							単位:	
計画		1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	(参考) 平成25年度 実績	
	①量の見込み	事業計画に記載している数値						
	②確保の内容							
	②-①							
実績		1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)		
	実績値	各年度の実績値						
自己評価								
委員評価								

<自己評価基準>

- ◎…計画を上回る進捗状況(計画値の110%以上の実績値)
- …計画どおりの進捗状況(計画値の90%以上～110%未満の実績値)
- △…計画を下回る進捗状況(計画値の90%未満の実績値)

「上回る」「下回る」の基準は実績値と計画値を比較して、10%以上のかい離がある場合とし、松山市が評価を行う。

<委員評価基準>

- 5 … 目標に比して特に成果の顕著な事業
- 4 … 目標を上回る成果の認められる事業
- 3 … 目標どおりの成果が得られた事業(定型的な事業が執行された場合を含む)
- 2 … 目標を下回る成果しか認められない事業
- 1 … 目標に比して特に成果の得られなかった事業
- 0 … 計画されていたにもかかわらず、事業自体が未実施

<最終評価>

・各委員で上記基準に基づき6段階評価を行い、事務局で集計後、各委員の平均を四捨五入し、最終評価とする。

・意見(匿名)については、別紙で記入することとし、最終評価と合わせて公表する。

		担当課	子育て支援課	
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	③ 児童クラブ運営事業(放課後児童健全育成事業)			
3 事業内容	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、適切な遊び及び生活の場を提供します。入会児童の増加に対応するため、計画的に専用施設の増築、新築等の整備を行います。			
4 事業実績	当該年度 予算額	534,704 千円	当該年度 決算額	524,926 千円

【計画値と実績値】

単位:人

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績	
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)		
計画	①量の見込み	4,373	4,650	4,958	5,228	5,518	3,536	
	(内訳)	小学1～3年生	3,614	3,842	4,097	4,307		4,529
		小学4～6年生	759	808	861	921		989
	②確保の内容	4,098	4,542	4,933	5,228	5,518		
	②-①	▲ 275	▲ 108	▲ 25	0	0		
実績		1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	/	
	実績値	4,726						
		115.3%						
	自己評価	◎						
	委員評価							

【評価と今後の見込みについて】

- ・子ども・子育て支援新制度による小学3年生から6年生までの対象学年拡大に対応するべく、平成26年度中に19校区で児童クラブの施設整備を行い、平成27年度当初には、クラブ数が83カ所となりました。また、小学6年生までの受入を25校区で実施できるよう体制づくりを行い、子育て環境基盤整備の充実を図りました。
- ・平成27年度中には、対象学年の拡大ができるよう、4～6年生の利用者を見込んだ上で、12校区の児童クラブについて、施設整備を行い、その結果、35校区(+10校区)で小学6年生までの受け入れが可能となりました。(2校区については、既に6年生までの受け入れを実施していた校区)。
- ・また、松山市が設置している児童クラブの人材確保を支援していくため、「松山市児童クラブ人材バンク」を立ち上げ、児童クラブで働きたい方と、スタッフの雇用主となる各運営委員会のマッチングをしています。また、松山市子育て情報サイト「カンガエルカフェ」に人材を募集している児童クラブを掲載し、閲覧者へ情報提供もしています。
- ・支援員の資質向上や情報共有のため年6回松山市が研修を行っているほか、愛媛県が開催している「放課後児童支援員資格認定研修」を94名の方に受講していただくなど、専門性を高める研修の機会の提供を図っています。
- ・今後は対象学年の拡大が出来ていない10校区について、施設整備を進めるほか、運営委員会と連携しながら、対象学年拡大ができるような体制づくりに取り組んでいきます。

○平成28年5月1日時点での入会児童数 4,726人(対前年比 +627人)

松山市子ども・子育て支援事業【資料2】

		担当課	子育て支援課	
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	④ 子育て短期支援事業			
3 事業内容	保護者の病気、疲労等により家庭で養育することが一時的に困難になった児童を保護します。また、夫等の暴力から一時的に逃れるためや経済的な理由により緊急一時的に保護が必要になった母子の保護を行います。今後も広報紙等によって周知に努め、利用を促進します。			
4 事業実績	当該年度 予算額	3,272 千円	当該年度 決算額	1,957 千円

【計画値と実績値】

単位：人日（年間利用延べ人数）

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	561	625	696	775	864	452
	②確保の内容	561	625	696	775	864	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	実績値	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	
		300					
		53.5%					
	自己評価	△					
	委員評価						

【評価と今後の見込みについて】

- ・ショートステイ、トワイライトステイともに利用者は減少傾向であり、計画策定時に見込んでいた量の見込みほどの利用はなかったです。
- ・特にトワイライトステイは、夜間や休日になると、親類や友人に預けたり、また、休日保育や他の子育て支援サービス（イクじい・ばあばママサービス等）を利用したりすることで対応しているものと推測されます。
- ・一方で、ニーズ調査の結果にもあるとおり、事業自体の認知度が低いため、利用につながっていない可能性も考えられることから、「まつこ」や「ひとり親家庭のしおり」などで事業の周知を図っています。（「まつこ」と「ひとり親家庭のしおり」はそれぞれ、毎年、8,000部発行。）
- ・また、平成28年度からは松山市の母子生活支援施設「小栗寮」の改修工事を予定しています（平成29年9月完成予定）。改修が完了すれば、現在、愛媛県の母子生活支援施設で行っている子育て短期支援事業の1つである母子の緊急一時的な保護を、「小栗寮」でも実施できるようスペースが確保できる予定です。
- ・ほかに、現在、松山市の子育て短期支援事業の対象は市民の方に限定していますが、28年度に締結を予定している「松山圏域連携中枢都市圏連携協約」の中で、近隣市町の方も対象にした広域的な受け入れに取り組めるよう、協議を行っていくことを予定しています。

松山市子ども・子育て支援事業【資料2】

担当課	健康づくり推進課
-----	----------

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	⑤ 乳児家庭全戸訪問事業			
3 事業内容	生後4か月未満の乳児のいる家庭を保健師又は訪問員(母子保健推進員等)が訪問し、さまざまな不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行います。支援が必要な家庭には適切なサービスの提供を行うことで、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。			
4 事業実績	当該年度 予算額	9,071 千円	当該年度 決算額	8,920 千円

【計画値と実績値】

単位:人

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	3,937	3,901	3,865	3,829	3,793	4,009
	②確保の内容	3,937	3,901	3,865	3,829	3,793	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	実績値	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	
		3,951					
		100.4%					
	自己評価	○					
	委員評価						

【評価と今後の見込みについて】

- ・こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)は、一部を松山市母子保健推進協議会に委託しています。訪問を担当する母子保健推進員は、市が実施する「松山市母子保健推進員養成講座(赤ちゃん訪問について含む)全7回講座」の受講を必須としています。
- ・毎月の定例会及び年2回の研修で、スキルアップを図っています。
- ・母子保健推進員が訪問した結果、支援を要する場合は、地区担当保健師に引継ぎ、継続支援を行います。

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	⑥ 養育支援訪問事業その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業			
3 事業内容	養育支援が必要でありながら自分から支援を求められない家庭を早期に発見し、必要な訪問支援を行います。今後も継続して支援を行い、家庭での安定した児童の養育が可能となるよう努めます。(要支援児童等に対する適切な対応)			
4 事業実績	当該年度 予算額	2,380 千円	当該年度 決算額	1,733 千円

【計画値と実績値】

単位：人

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	1,631	1,713	1,781	1,835	1,872	1,443
	②確保の内容	1,631	1,713	1,781	1,835	1,872	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	実績値	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	
		1,640					
		100.6%					
	自己評価	○					
	委員評価						

【評価と今後の見込みについて】

・訪問数で達成度を判断するのは困難ですが、養育支援が特に必要な子どもや家庭に対し、個々の状況に応じた支援に努めました。

・虐待、不登校、いじめなどの要保護児童等に対し、効果的かつ迅速に総合的な支援に取り組むとともに、関係機関で構成する「要保護児童対策地域協議会」での実務者会議、個別ケース検討会議等で役割分担を行い、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応に努め、適切な支援を行いました。また、児童虐待防止を強化するため、年間を通してリーフレットの配布、児童虐待防止推進月間の11月には広報テレビやラジオ、市庁舎への横断幕設置等で、児童虐待に対する意識啓発に取り組ましました。

《児童虐待支援状況》

○支援実数：557件

(内訳)

○被虐待児の種別 身体的虐待：160件、ネグレクト：192件、心理的虐待：203件、性的虐待：2件

・新規：263件 (身体的虐待：67件、ネグレクト：65件、心理的虐待：131件、性的虐待：0件)

・継続：294件 (身体的虐待：93件、ネグレクト：127件、心理的虐待：72件、性的虐待：2件)

○支援方法及び延べ件数 訪問：1,731件 電話：1,681件 面談：621件 合計：4,033件

○個別ケース検討会議 虐待：103回 要保護等：39回 合計：142回

・今後も、継続して養育環境が安定するよう、迅速かつ的確な対応に努めます。

担当課	保育・幼稚園課 子育て支援課 子ども総合相談センター事務所
-----	-------------------------------------

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	⑦ 地域子育て支援拠点事業			
3 事業内容	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行います。これにより、地域の子育て支援機能の充実、子育ての不安感の緩和等を図り、子どもの健やかな育ちを支援します。			
4 事業実績	当該年度 予算額	90,133 千円	当該年度 決算額	88,916 千円

【計画値と実績値】

単位：人日（年間利用延べ人数）

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績	
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)		
計画	①量の見込み	108,200	108,200	108,200	107,900	107,600	ひろば型： 5か所(15,697) センター型 15か所(40,445) 児童館： 7か所(35,621) 合計： 27か所(91,763)	
	②確保の内容	28か所 95,800	30か所 104,000	31か所 108,200	31か所 107,900	31か所 107,600		
	②-①	▲ 12,400	▲ 4,200	0	0	0		
実績	実績値	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)		
		ひろば 5か所 センター 16か所 児童館 7か所 計 28か所 ひろば 14,595 センター 49,821 児童館 41,011 計 105,427 100.0% 110.0%	ひろば センター 児童館 計	ひろば センター 児童館 計	ひろば センター 児童館 計	ひろば センター 児童館 計		
		自己評価	○					
		委員評価						

【評価と今後の見込みについて】

- ・主に認定こども園や保育所で実施するセンター型(※1)は、平成27年度に新たに1か所で新規開設しました。
- ・ひろば型(※1)(補助4箇所+直営1箇所)及び児童館型(※2)において、平成27年度利用実績は平成25年度より増加しており、子育て世帯のニーズの高さが伺えます。
- ・平成28年度には、北条地区に児童館を新規開設し、児童館型を新たに1か所、開設する予定としています。
- ・今後は、その他の類型(ひろば型及び児童館)の事業展開も踏まえながら、地域子育て支援拠点事業全体として、特に利用者が多い区域などにも考慮して、事業計画の目標施設数を確保できるように努めていきます。

(※1)現在は「一般型」に名称変更
(※2)現在は「連携型」に名称変更

担当課	保育・幼稚園課
-----	---------

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	⑨ 病児・病後児保育事業			
3 事業内容	認定こども園・幼稚園・保育所等に通っている児童が病気又は病気回復期のため、集団生活が困難な場合に、一時的に預かります。			
4 事業実績	当該年度 予算額	69,329 千円	当該年度 決算額	69,329 千円

【計画値と実績値】

単位：人日（年間利用延べ人数）

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200	2,979
	②確保の内容	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
	②－①	1,000	900	800	700	600	
実績	実績値	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	5年目 (平成31年度)	
		4,732					
		98.6%					
	自己評価	○					
	委員評価						

【評価と今後の見込みについて】

・確保の内容に対する受け入れ枠を確保できているものの、対象児童の拡大や制度の充実等により、利用人数が増加していることから、今後、病児・病後児保育の利用ニーズに対して、供給量を確保していくことが課題であり、引き続き、調査・研究していきます。

松山市子ども・子育て支援事業【資料2】

		担当課	子育て支援課	
1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	⑩ ファミリー・サポート・センター事業			
3 事業内容	子育てに関し、「援助を受けたい方(依頼会員)」と「援助を行いたい方(提供会員)」両者のあつ旋等を行います。利用料の助成により依頼会員の増加を図るとともに、依頼会員数と提供会員数のバランスを保ちます。また、より安全な援助活動を行うため講習会を実施し、提供会員の資質向上を図ります。			
4 事業実績	当該年度 予算額	7,560 千円	当該年度 決算額	6,972 千円

【計画値と実績値】

単位：人日(年間利用延べ人数)

計画		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	10,620	10,801	10,984	11,171	11,361	10,268
	②確保の内容	10,620	10,801	10,984	11,171	11,361	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	実績値	8,684					
		81.8%					
自己評価		△					
委員評価							

【評価と今後の見込みについて】

・実施件数を伸ばすべく、事業の周知・啓発等に努めましたが、サービスを毎日利用していた依頼会員7名の児童が、いずれも中学生になり本事業の対象と外れたことで、約2,000件の依頼がなくなってしまうことから、計画値と比較して大幅な実績値の減少となってしまいました。

・ファミサポ事業を推進していくには、その受け皿となる提供会員の拡大が必要不可欠となります。平成27年度は2回の初級講習会を実施し、33名の方が新たに提供会員となりました。

・本市では、厚生労働省が推奨する24時間の講習カリキュラムに基づき、保育士や小児科医、看護師などの専門職の方々により、子どもの成長や発達に関する知識や年齢に応じた子どもへの関わり方、病児や障害児への対応、乳幼児への救命措置などの講習のほか、本事業のアドバイザーから提供会員としての心構えや諸注意、事例紹介など合計24時間の講義を実施し、子どもを預かるための知識を身に付けてもらっています。しかし、初級講習会は、6日間24時間もの講習受講が必要となっていることから、やむを得ない理由により講習の一部を欠席してしまうことがありますが、そのような場合でも、過去2年間の範囲で未受講科目のみを受講すれば、全科目受講修了とし提供会員として登録するなど、柔軟な対応を取っています。また、平成27年度から始まった子育て支援員制度に基づき、子育て支援員研修のうち、ファミサポ事業の提供会員になるための研修を修了した者については、初級講習会を免除し、提供会員として登録しています。

・今後は、講習会の回数を増やすことや、提供会員が少ない旧北条地域などで講習会を実施することで、さらなる提供会員数の拡大を図りたいところですが、研修講師の確保や受講者数と比較しての費用対効果など、クリアすべき課題もありますので、さらに研究した上で、引き続き提供会員の確保に努めていきたいと考えています。

○平成27年4月1日時点での会員数 1,411人 → ○平成28年3月31日時点での会員数 1,432人
 (依頼会員) 633人 (依頼会員) 674人
 (提供会員) 754人 (提供会員) 731人
 (両方会員) 24人 (両方会員) 27人

松山市子ども・子育て支援事業【資料2】

担当課	健康づくり推進課
-----	----------

1 区分	2 地域子ども・子育て支援事業の充実			
2 事業等名	① 妊婦一般健康診査事業			
3 事業内容	妊婦一般健康診査(一部公費負担)を行い、妊婦及び胎児の健康の保持増進を図ります。広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布等で受診勧奨のために周知・啓発を図ります。			
4 事業実績	当該年度 予算額	395,986 千円	当該年度 決算額	360,694 千円

【計画値と実績値】

単位:人日(年間利用人数)

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	(参考) 平成25年度 実績
		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)	(平成30年度)	(平成31年度)	
計画	①量の見込み	4,438	4,397	4,356	4,315	4,274	4,520
	②確保の内容	4,438	4,397	4,356	4,315	4,274	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績	実績値	4,416					
		99.5%					
自己評価		○					
委員評価							

【評価と今後の見込みについて】

・妊婦一般健康診査は、県内20市町と愛媛県等で構成する愛媛県母子保健健康診査事業連絡会で、助成対象とする検査項目や回数及び助成金額等を協議し、県内に在住する妊婦が県内どこの産科医療機関等で受診しても同じ助成が受けられるよう、県下統一の内容で実施しています。また平成27年度からは、国の示す妊婦健診についての望ましい基準に沿って妊婦健診を受けることができるよう公費負担しており、平成27年度の受診率は95.0%でした。

・妊婦一般健康診査受診票は妊娠届出時に母子健康手帳とともに受診券を交付しています。平成28年度からは、産科医療機関等の協力を得て、保健師常駐窓口での母子健康手帳及び受診券の交付案内を配布し、窓口では妊婦健診の受診勧奨や必要に応じた相談等を行っています。

- ・保健師常駐窓口は、以下の5か所です。
- ①松山市保健所 健康づくり推進課
- ②松山市役所 市民課 母子健康コーナー
- ③松山市保健センター南部分室
- ④松山市保健センター中島分室
- ⑤松山市保健センター北条分室

・妊婦と胎児の異常の早期発見、保健指導を実施し正常な妊娠・分娩につなげることを目的としているため、適切な受診の必要性を継続的に啓発し、高水準の受診率の確保に努めます。